

小樽・北しりべし消費者被害防止 ネットワークニュース No. 24

(事務局) 小樽消費者協会

〒047-8660 小樽市花園2丁目12番1号

☎ (0134) 31-3682 FAX (0134) 23-7978

小樽市役所別館5階

E-mail: otaru-syohisha@hokkaidou.me

小樽・北しりべし消費者センター内

消費者被害防止ネットワーク会議開催

小樽・北しりべし消費者被害防止ネットワーク会議が、8月10日(火)13:30から小樽市消防庁舎6階講堂で、23団体41名が参加し2年振りに開催されました。小樽・北しりべし消費者センター斎藤智子副主任相談員から「認知症気味の高齢者の契約を、地域包括センターと連携し、返品して解約、返金になった事例」・「光回線をアナログ回線に戻す電話勧誘のトラブル事例」などが紹介され、続いて小樽警察署生活安全課生活安全係の手倉健太郎主任による「特殊詐欺被害に遭わないために—その現状と対処法について—」の講演が行われました。



写真提供：小樽ジャーナル

自分が詐欺に遭うと思ってない人がほとんど。
留守電や防犯機能付き電話で、対策を！

昨年の北海道では、

183件 約4億9千万円の被害が！！

あの手この手でやってくる 消費者トラブル

「高齢者の消費者トラブル」と「消費者安全読本」を読んで、トラブルから身を守りましょう！！

ご希望の方はお気軽に協会事務局までご連絡ください。



小樽・北しりべし消費者センター ☎0134-23-7851

国民生活センターより配信されています、見守り情報を送付します。
ネットワーク会員のみなさまにおかれましては、引き続き地域の方々の見守りや、
注意喚起等の活動をよろしく願いいたします。

自宅の売却 トラブルに注意

朝10時から
夜9時半まで家を
売るよう勧誘
され、強引に契
約させられた

(80歳代)

「このマンション
は10年後には取り
壊される」という
嘘の説明を信じて、
相場より安く契約
してしまった

(70歳代)

強引に売却させ
られ解約するなら
900万円支払うよ
うにと言われた

(80歳代)

「強引に勧誘され、安価で自宅を売却する
契約をしてしまった」
「解約したいと申し出たら違約金を請求された」
といった、高齢者の自宅の売却に関する相談が寄せられています。

問題点	トラブルを防ぐために
<ul style="list-style-type: none"> ・長時間の勧誘や嘘の説明によって望まない契約をしている。 ・仕組みや流れを理解しないまま契約している。 ・家族や周りの人が契約後に気づき、トラブルになっているケースも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望しない場合は、「売る気はありません」ときっぱり断る。 ・業者に聞いてもわからない場合は、解決するまで契約しない。 ・契約前に、周りの信頼できる人に相談し、なるべく1人で対応しない。

自宅を不動産業者に売却した場合、クーリング・オフはできません

わからないことがあれば、解決するまで契約しないようにしましょう

勧誘が迷惑だと思ったら、きっぱり断りましょう

不安に思った場合は、消費者ホットライン「188」へ！

通話録音装置や、送受電話対策機能のついた電話機を利用することも検討しましょう。

不安に思った場合は、
消費者ホットライン「188」へ！

国民生活センター (2021年8月24日公表)

国民生活センター (2021年8月24日公表)

見守り
新鮮情報

大雨 慌てず 早めの避難で 安全確保を

「早めに避難しよう！」

「命を守る行動を！」

台風や集中豪雨などの大雨によって、冠水や河川が氾濫することがあります。地域によっては、土砂崩れや土石流などの**土砂災害**が発生することもあります。いざというときに慌てないように**日頃から備え**をし、避難の際は**早めの行動**を心がけましょう。

早めの行動!

ひとつ助言

- 自宅周辺に浸水や土砂災害などが発生しやすい場所がないかをハザードマップなどで確認しておきましょう。
- 家族と避難場所や避難経路について話し合い、連絡方法なども決めておきましょう。
- 災害時は、状況や危険度の高まりに応じて、避難する行動やタイミングが異なります。ニュースや自治体からの情報を入手できるようにし、台風や大雨が近づいているというニュースや気象情報を見聞きしたら、避難経路など災害への備えを今一度確認しましょう。
- 情報から取り残されている方が周辺にいるかもしれません。家族や近隣住民が災害情報を入力し、声掛けなどを行い、早い段階で避難を促しましょう。
- 避難が必要な状況になった際は、直ちに命を守る行動をとってください。避難場所への移動がcaえって危険となる場合には、近くの頑丈な建物などの安全な場所や自宅の2階や3階、あるいはマンションの上階など、垂直方向へ避難しましょう。